



一般社団法人
カメラ映像機器工業会
Camera & Imaging Products Association
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-8-10 MA 芝浦ビル 3階
TEL. (03) 5442-4800 (代表)

PRESS RELEASE

2016年2月1日

一般社団法人カメラ映像機器工業会 (CIPA)

2016年カメラ等品目別出荷見通し

一般社団法人カメラ映像機器工業会 (CIPA: 代表理事会長 笹宏行) は、このほど 2016 年カメラ等品目別出荷見通しをまとめた。

1. 2015 年出荷実績

総出荷は対前年比 81.5%、レンズ交換式の構成比が 37%に拡大。

2015 年 (1~12 月累計) のデジタルカメラ総出荷実績は 3 千 540 万台、対前年比 81.5%となった。

1999年に当統計を開始して以降、2007年に1億台を突破するなど右肩上がりでも推移したが、世界的な景気後退の影響を受けた 2009 年に初めて減少を記録。東日本大震災やタイ国洪水によって生産面でも深刻な打撃を受けた 2011 年に再び減少を記録すると、復調を期待された 2012 年も前年を割り込み、以降、2015 年に至ってもなお減少が続くこととなった。

しかしながら、2014 年対前年比 69.1%だったことからすれば減少幅は顕著に縮小。「レンズ一体型デジタルカメラ」(いわゆるコンパクトデジタルカメラ) の大幅な減少が続くが、「レンズ交換式デジタルカメラ」は前年並みを窺う水準となり、品目別構成比においても 2013 年の 27%、2014 年の 32%から 2015 年は 37%に勢力を急拡大、総出荷の減少ペースにブレーキを掛ける役割を果たした。

レンズ交換式デジタルカメラは対前年比 94.3%。

「レンズ一体型デジタルカメラ」は 2 千 230 万台、対前年比 75.5%となった。

前年 8 割にも満たないまだ低調な実績であるが、2014 年対前年比 64.7%だったことからすれば減少幅としては顕著に縮小した。

「レンズ交換式デジタルカメラ」は 1 千 310 万台、対前年比 94.3%となった。

対前年比が 80.8%に留まった 2014 年時点からの好転は明らかで、月間ベースでは 100%を大きく上回る局面もあったことから 2013 年から続く前年割れに完全にストップが掛かること

も期待されたが、年計で前年実績に達するまでには至らなかった。

地域別では、「レンズ一体型デジタルカメラ」「日本向け」が対前年比 82.2%、同「日本向け以外」が 74.4%、「レンズ交換式デジタルカメラ」「日本向け」が 90.1%、「日本向け以外」が 95.0%。「レンズ交換式デジタルカメラ」の「日本向け以外」が復調をリードする。

「レンズ一体型デジタルカメラ」がスマートフォンの台頭で苛烈な競合に晒される一方、スマートフォンとは一線を画する高画質、カメラファンを惹きつけて止まない個性豊かな交換レンズ群との組み合わせで自在な表現力を発揮する「レンズ交換式デジタルカメラ」の需要は底堅い。

しかしその一方で、「レンズ一体型デジタルカメラ」においても、大型センサーを搭載した高画質機、撮影フィールドを一気に拡大するアクションカム系商材など各社多様なアプローチで訴求を開始しており、今後の実績改善が期待される。

交換レンズ対前年比は 94.5%。

「レンズ交換式デジタルカメラ」は、それ自体が高付加価値商材であると同時に交換レンズをはじめとする対応商品群との組み合わせで総合力を発揮するシステム商材である。

要の「レンズ交換式カメラ用レンズ」は、2千170万本、対前年比 94.5%。これと対を為すボディー側、「レンズ交換式デジタルカメラ」に対して 1.6～1.7 倍のスケールをキープする。

「レンズ交換式デジタルカメラ」の 2 大カテゴリーである「一眼レフ」、そして「ノンレフレックス」、ともに幅広いラインアップを築いたことでユーザー層が拡大、次の段階として、レンズ交換式のレンズ交換式たる由縁、多くの交換レンズを揃えて使い分ける楽しさに目覚めたユーザーの拡がりを窺わせる実績となった。

2. 2016 年出荷見通し

2016 年（1～12 月累計）のデジタルカメラ総出荷は、3 千 100 万台、対前年比 87.6%と見通した。

タイプ別では、「レンズ一体型デジタルカメラ」は 1 千 860 万台、対前年比 83.4%、内「日本向け」が 290 万台、87.9%、「日本向け以外」が 1 千 570 万台、82.2%、「レンズ交換式デジタルカメラ」は 1 千 240 万台、94.7%、内「日本向け」が 160 万台、100.0%、「日本向け以外」が 1 千 80 万台、94.7%と見通した。

「レンズ交換式カメラ用レンズ」は、2 千万本、対前年比 92.2%、内「日本向け」が 300 万本、93.8%、「日本向け以外」が 1 千 700 万本、91.9%と見通した。

低価格帯のデジタルカメラやスマートフォンで写真に目覚めたユーザーが上位のデジタルカメラを求める、いわゆるステップアップ需要の期待は引き続き高く、「レンズ一体型デジタルカメラ」に対して「レンズ交換式デジタルカメラ」が堅調に推移することを見通した。

※ノンフレックス：いわゆる「ミラーレス」「コンパクトシステムカメラ」、レンズ交換式のレンジファインダーカメラ、カメラユニット交換式等。

以上

2016年カメラ等品目別出荷見通し

一般社団法人カメラ映像機器工業会

単位: 十万台(レンズは十万本)

品目	総出荷											
					日本向け				日本向け以外			
	2015年実績	前年比	2016年見通し	前年比	2015年実績	前年比	2016年見通し	前年比	2015年実績	前年比	2016年見通し	前年比
デジタルカメラ<合計>	354	81.5%	310	87.6%	49	84.7%	45	91.8%	305	81.0%	265	86.9%
レンズ一体型	223	75.5%	186	83.4%	33	82.2%	29	87.9%	191	74.4%	157	82.2%
レンズ交換式	131	94.3%	124	94.7%	16	90.1%	16	100.0%	114	95.0%	108	94.7%
レンズ交換式カメラ用 レンズ	217	94.5%	200	92.2%	32	96.9%	30	93.8%	185	94.1%	170	91.9%

注: 数値のうち四捨五入により計算の合わないものがある。

この件に関する問い合わせ先：
 一般社団法人カメラ映像機器工業会
 E-mail : infostat@cipa.jp
 URL : <http://www.cipa.jp/>